

### 現役世代も高齢者も安心の介護保険制度に②

#### 舟木けんじ市議 一般質問③

舟木けんじ市議は11月議会一般質問で、介護保険制度についてとりあげました。

「保険料を払いながら介護が必要な時になって利用料が払えずサービスが受けられない」というのは、『保険あつて介護なし』と言わざるを得ない



舟木けんじ市議員

い」と指摘し、介護認定を受けながら利用していない方の現状や利用料負担軽減策などについて市の見解を質しました。

松原正健康福祉部長は、「認定を受けながらサービスを

利用していない方は令和4年4月からの半年間で1752人、認定者数の14・5%」

「在宅介護実態調査によれば介護保険サービスを利用していない理由として『現状では利用するほどの状態ではない』

### DV相談倍増 相談体制拡充を

#### たちばなふみ市議 一般質問③

たちばなふみ市議は11月議会女性に対する暴力撤廃へ相談体制の拡充について質問しました。

「女性の多くがDV（配偶者など親密な相手からの暴力）、セクハラ、望まない性行為、痴漢等の暴力被害に遭っています。コロナ禍でDV相談件数は急増、松江市でも昨年度



たちばなふみ市議員

多くは子どもを持つ女性である」として今後の対応や体制について質しました。

たちばな市議は「DV相談は、子どもや高齢者・障がい者・精神疾患等・福祉や医療

が最も多く48・1%。『利用料を支払うのが難しい』は最も少ない0・6%。令和4年9月末で負担限度額認定1578人、社会福祉法人等による軽減認定237人、認知症対応型共同生活介護の軽減認定253人が対象。高額介護サービス費の対象は2692人、高額医療・高額介護合算制度は2506人が対象となっている。利用料が高いため利用を控えるケースは少ないと認識。低所得者や生活困難者に対しては、介護保険制度だけでなく公的制度を組み合わせ組織横断的に生活全般を支援することとしている」と答弁しました。

の相談もあり関係課や各機関との連携が重要」とし「これまで2か所に対応していた女性相談が3か所に分散するのであれば、さらに連携が難しくなり相談員の負担も増すのではないかと、必ず複数名で対応できるように専門の相談員を増員し、相談体制の拡充を」と求めました。

松原正健康福祉部長は「子ども家庭センター設置後もワンストップ窓口は家庭相談課で担う。子ども家庭センター及び男女共同参画センターとは互いに連携を図る。相談者が何度も辛い話をしなくてよいよう工夫し相談者に寄り添いしつかりと対応する」などと答弁しました。

### 安心して暮らせる松江市へ

#### 党松江市委員会が予算要望

長引くコロナ禍に物価高騰が追い打ちをかける中、予期せぬ自然災害、島根原発再稼働に向けた動き、岸田政権の原発推進政策で60年を超す原発の稼働まで許されようとし



予算要望を小村総務部長に提出する市議団

ており、市民の中に不安が渦巻いています。日本共産党松江市委員会は、2023年度当初予算に関する要望書を市に提出しました。概要を紹介します。

- ①島根原発について、国や中電に対し再稼働しないことを求めるとともに、プルサーマルについて十分な説明を求めること。
- ②脱炭素社会を目指す再エネ100%の松江市へ、エネルギーの地産地消促進、住宅断熱改修補助など。
- ③コロナ禍での市民生活支援として社会保障の充実と産業支援。
- ④コロナ禍での感染症対策、

保育、教育など子育て施策の充実。  
⑤ジェンダー平等で誰一人のこさない松江市へ、賃金格差是正のための公表、女性の生涯にわたる健康と権利のため生理用品を公共施設や学校で配布、パートナーシップ制度導入、女性に対する暴力撤廃へDVのワンストップ窓口の相談体制拡充など。

⑥災害につよまらなく、環境等として、子どもたちの交通安全対策や市営住宅の環境改善、交通弱者の公共交通の充実など。  
全体で80項目の具体的要望となりました（詳しくはお問い合わせください）。  
党松江市委員会は、これらの要望実現をめざして全力をあげます。

### 10年に一度の大寒波 松江で5年ぶりの大雪



雪で埋まった宍道湖大橋の歩道



子どもも手伝い雪かきに励む

1月24日からの数日間、松江市は5年ぶりの大雪に見舞われました。市民は連日雪かきに追われ、バスも運休するなど、市民生活にも大きな影響が出ました。車道や歩道の除雪の要望が多数寄せられました。雪景色を写真に収める市民も多く、学校が休校となった子どもたちが、かまくらや雪だるまづくり、そり遊びを楽しみむ姿も各地で見られました。